

# 海からみる 江戸東京～東京湾の 歴史、現在、未来

趣旨説明  
10:00-10:15

陣内秀信  
(法政大学名誉教授/江戸東京研究センター特任教授)

基調講演  
10:15-11:15

「松平定信にとっての海」  
田中優子  
(法政大学名誉教授/江戸東京研究センター特任教授)

報告

11:20-12:00 「江戸前の島をめぐる説話」  
小林ふみ子 (法政大学文学部日本文学科教授/江戸東京研究センタープロジェクトリーダー)

13:00-13:40 「江戸前をつないできた東京湾の流れ」  
古川恵太 (特定非営利活動法人 海辺つくり研究会理事長)

13:40-14:20 「落語における江戸前」  
中丸宣明 (法政大学文学部日本文学科教授/江戸東京研究センター兼任研究員)

14:20-14:40 「海の地図史と江戸前・東京湾」  
米家志乃布 (法政大学文学部地理学科教授/江戸東京研究センター長兼プロジェクトリーダー)

(休憩)

15:00-15:40 「東京湾を移動する船上生活者」  
高村雅彦 (法政大学デザイン工学部建築学科教授/江戸東京研究センタープロジェクトリーダー)

15:40-16:20 「佃島、月島の歴史、現在、未来」  
志村秀明 (芝浦工業大学建築学部教授)

総合討論  
16:20-17:00

江戸東京研究は、これまでは主に人と建築物が密集する陸の視点から捉えられてきました。一方で海は、江戸東京の発展に大きく寄与したにもかかわらず、陸の視点からは見えにくいといえます。陸に住む人々にとって海は障壁になりますが、船乗りにとっては自由に往来できる空間という二面性をもっています。

本シンポジウムでは、江戸東京という都市を、陸の視点からだけでなく、江戸の前に広がる海としての「江戸前」、東京湾という海の視点からも捉えなおしていきます。人々は、どのようにこの空間を見、利用して、付き合ってきたのでしょうか。これまでにない、よりダイナミックな江戸東京の空間として、その歴史、現在、そして未来を考えていきたいと思っております。

## 開催方式

会場およびオンライン (Zoom) によるハイブリッド。



## 参加申込

- ・参加無料
- ・会場参加、オンライン (Zoom) 参加、いずれの場合も、**事前申込が必要**です。
- ・下記の申込フォームもしくはQRコードから**2025年1月9日 (木)**までに申し込んでください。

<https://forms.gle/BKauKLhNi51kDBaa9>

※入力いただいたメールアドレス宛に、Zoom接続情報を2025年1月10日 (金) に送信します。

2025.1.12

10:00-17:00

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート棟  
5階G503教室